

皆さんに支えられた10年間の議員活動

地域に根差し、平和と暮らしを守る決意新たに

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。皆さんに国会へと送り出していただいてから、昨年12月にちょうど10年という節目を迎えました。10周年を祝う集いも開催していただきました。皆さんに支えられ、励まされて10年間、議員活動を続けることができたこと、心から感謝いたします。

国民の信頼失う岸田内閣

防衛予算大幅増には固執

昨夏に関われた参議院議員選挙で与党は、過半数を大幅に上回る議席数を確保しました。岸田内閣が高い支持率を維持していたことが大きな要因でした。

しかし、参院選後、安倍元総理の国葬問題、旧統一教会と自民党議員の深い癒着、そして私たちの暮らしを直撃する物価高の3点セットで岸田内閣は国民の批判を浴び、わずか数ヶ月で支持率は30%近くも低下しました。

また昨秋から年末にかけて開かれた臨時国会では旧統一教会との関係や政治とカネの問題などで、わずかな期間に3人の閣僚が更迭に追い込まれるなど岸田内閣はもはや国民の信頼を急速に失いつつあることは間違いありません。

にもかかわらず、防衛3文書の見直しに際し、専守防衛を逸脱しかねない敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有や防衛費の大幅増には固執しています。5年後からは、防衛費の増額に毎年4兆円もの新たな財源が必要になります。そんなおカネがあるのならば、社会保障、教育、子育てや老後の安心にこそ役立つのが筋です。

米国の約半分にまで下がった賃金水準 暮らしと経済の立て直しは急務の課題

OECD（経済協力開発機構）の調査によると、2021年の国際比較で、日本の労働者の実質賃金（年収）



2023年の立憲民主党の飛躍を誓う（左：逢坂誠二・立憲民主党代表代行、右：吉田忠智・同大分県連代表）

はG7の中で最低。日本円に換算し1000万円を上回る米国の労働者の平均年収の約半分にとどまりました。1997年からの約25年間の賃金の動きをみると欧米諸国、さらには韓国を含めても1.5~2倍程度、名目賃金は上昇していますが、ひとり日本だけが1997年の水準から5%も低下しています。

この低賃金構造を物価高が直撃し、実質賃金はまたそろ8ヶ月連続で低下し続けています。「所得倍増」を打ち出していた岸田総理は、やがて「資産所得倍増」へとすり替え、いまは「構造的な賃上げ」を言っています。ならば、企業の利益が飛躍的に増え続けても賃金が上がらない「構造」そのものを変えるべきでしょう。私たちの暮らし、そして日本経済を立て直すためにも賃上げは急務の課題です。

今年は大分県議選を始め、統一自治体選が関わられます。党、労働組合、そして平和運動センターが推薦する候補が勝利し、暮らしと平和を守る議席を増やすため最大限、力を発揮したいと思います。

衆議院議員

吉川はじめ

議員活動「10周年を祝い励ます集い」盛大に開かれる 働く皆さんに寄り添い、政治を変えます

吉川はじめ衆議院議員 10周年を祝い励ます集い



これまでの支援に感謝し、今後の議員活動強化の決意を表明

昨年12月17日、大分市内で「吉川はじめ衆議院議員の10周年を祝い励ます集い」が開催され、党、後援会、労働組合などから多くの方が出席しました。吉良州司衆議院議員、安達澄参院議員のほか、大分市長ら多くの自治体関係者も激励に駆けつけてくださいました。

呼びかけ人を代表してあいさつに立った吉田忠智参院議員（立憲民主党大分県連代表）は、吉川議員が10年前の総選挙で公示直前の立候補となった経緯を振り返り、「地盤・看板・カバン、何もない中で闘い、10年の節目を迎えた」

としつつ、「今後の目標はただ一つ。小選挙区で勝つこと」だと檄を飛ばしました。

立憲民主党を代表して集いに出席してくださった逢坂誠二・代表代行は、前日に政府が敵基地攻撃能力の保有や防衛費大幅増のための増税を打ち出したことについて触れ、「国会も国民も関与させずに勝手に決めた」と憤り、健全な政治の実現に向けて「強い野党が必要だ」と強調。「そのためにも吉川議員が、国会には絶対に必要だ」と述べ、吉川議員の今後の活動への強力なサポートを出席者に訴えました。

来賓の激励あいさつを受けて登壇した吉川議員は「議員として10周年を迎えることができたのは、ひとえに皆さんのお支えによるものだ」と感謝の言葉を述べ、働く人、高齢者、そして地方で暮らす人々に寄り添い、今後も議員活動に励む決意を示しました。

集いはその後、吉川議員が各テーブルを回って出席者と懇談。最後に棚村和秀・後援会長の必勝ガンバローで閉会しました。

このほか、佐藤昭生・国民民主党県連代表、林田澄孝・共産党県委員長にこの挨拶いただきました。



尾野賢治・大分県副知事



逢坂誠二・立憲民主党代表代行



石本健二・連合大分会長



吉田忠智・立憲大分県連代表



棚村和秀・後援会長



久原和弘・社民党県連合代表



瀧本司・日教組委員長



青木真理子・自治労副委員長

集いでこの挨拶いただいた方々



WEBサイト



ツイッター



FB



Instagram

所属委員会
議院運営委員会
文部科学委員会

東京事務所
衆議院第2議員会館505号室
地下鉄丸の内線「国会議事堂前」駅下車
TEL 03-35508170
FAX 03-35508138

日杵事務所
大分県日杵市大字日杵
195番地
TEL 0972-641603
FAX 0972-641607

あなたの声を国政に生かします。
どうぞ吉川はじめ事務所まで



衆議院議員
吉川はじめ